

別紙3 企画提案書等審査項目

| No | 評価項目 | | | 評価の視点 | 必須項目 | 評価点A | 乗数B | 点数A*B | 審査の対象となる資料 | 備考 |
|----|--------|-------|---------------|---|------|------|-----|-------|-----------------|---|
| | 大項目 | 中項目 | 小項目 | | | | | | | |
| 1 | 家屋評価補助 | 評価計算 | 従事者の資質 | 主任技術者予定者の非木造家屋評価経験が豊富か | | 4 | 2 | 8 | 予定従事者 | (標準) 業務経験3年以上 (増点) 業務経験5年以上 |
| 2 | | | 従事者の理解度 | 本県の評価計算書が使用できているか、非木造家屋の評価方法が深く理解できているか | ○ | 4 | 6 | 24 | 評価計算書等 | (増点) 取扱いが複数考えられるものについては考え方が示されている (0点) 評価計算書様式以外での作成、明らかに計算が間違っている |
| 3 | | 成果品 | 過不足ない資料 | 評点付設の根拠資料が過不足なく作成されているか | ○ | 4 | 5 | 20 | 評価計算書等 | (0点) 根拠資料が不備 |
| 4 | | | 明瞭性 | 成果品は課税担当者が確認しやすいものとなっているか | | 4 | 4 | 16 | 評価計算書等 | |
| 5 | | | 正確性 | 成果品のチェック体制が整備されているか | ○ | 4 | 3 | 12 | 企画提案書ア | (0点) チェック体制が不備 |
| 6 | | 工程管理 | 迅速性 | 発注後1か月以内の納品が可能か | ○ | 4 | 2 | 8 | 企画提案書イ | (増点) 想定納期が早い (0点) 想定納期が1か月超 |
| 7 | | | 進捗管理 | 進捗管理の体制が整備されているか | ○ | 4 | 1 | 4 | 企画提案書イ | (0点) 進捗管理体制が不備 |
| 8 | | その他 | 仕様書にない有用なサービス | 仕様書にない、家屋評価に有用なサービスを提案している | | 4 | 1 | 4 | 企画提案書ク | なければ0点、内容により1~4点。 |
| 9 | 総合支援等 | 業務執行 | 従事者の理解度 | 例題への回答は関係法令や基準を理解した上で、知見を加味したものとなっているか | ○ | 4 | 2 | 8 | 例題回答 | (0点) 例題の回答がない、回答に関係法令や基準の出典が記されていない |
| 10 | | | 迅速性 | 相談への迅速な対応が可能か | | 4 | 1 | 4 | 企画提案書ウ | |
| 11 | | | 正確性 | 相談対応等のチェック体制が整備されているか | ○ | 4 | 1 | 4 | 企画提案書ウ | (0点) チェック体制が不備 |
| 12 | | 知見 | 専門性と知見の広さ | 従事予定者は固定資産評価、資産課税、不動産登記に豊富な経験又は知見があるか、関連資格の取得はあるか | | 4 | 3 | 12 | 予定従事者 企画提案書ウ | (増点) 関連資格保有者あり |
| 13 | | その他 | 仕様書にない有用なサービス | 仕様書にない、総合支援に有用なサービスを提案している | | 4 | 1 | 4 | 企画提案書ク | なければ0点、内容により1~4点。 |
| 14 | 共通 | 業務体制 | 事業者の業務実績 | 同種業務(評価補助、資産課税支援)の受注が豊富か | | 4 | 1 | 4 | 事業実績 | |
| 15 | | | 従事者の研鑽 | 従事予定者における固定資産評価や資産課税に関する研鑽が行われているか | ○ | 4 | 1 | 4 | 企画提案書エ | (0点) 研鑽体制や計画がない |
| 16 | | 有用性 | 業務効率化の観点 | 本業務が本県の業務効率化に資するという観点で提案されているか | | 4 | 1 | 4 | 企画提案書オ | |
| 17 | | 情報管理 | 個人情報保護 | 個人情報保護、情報資産保護が適正かつ積極的か | ○ | 4 | 2 | 8 | 企画提案書カ | (増点) 関連認証あり(Pマーク、ISO等) (0点) プライバシーポリシーが不備 |
| 18 | | 社会貢献等 | 県内事業者 | 県内の企業か(支店、営業所、開設予定を含む) | | 4 | 2 | 8 | 事業者概要 | 該当...4点、非該当...0点 |
| 19 | | | 配慮措置 | 障害者雇用事業主等配慮企業等(県内)である又は同等(県外)である | | 4 | 1 | 4 | 企画提案書キ | 該当...4点、非該当...0点 |
| 20 | 見積価格 | | | 40点×{1-(見積価格/予算額)} | | | | 40 | 見積書 | 点数の小数点未満は切捨て。 |

| | | | | | | | | | | |
|----|--|--|--|--|--|--|--|--|-----|--|
| 合計 | | | | | | | | | 200 | |
|----|--|--|--|--|--|--|--|--|-----|--|

※1 評価基準は次のとおりとし、絶対評価により評価する。

| 評価点 | 評価基準 | | |
|-----|-----------------------|----------------------|----------|
| | 右記以外 | No.8、13 | No.18、19 |
| 4点 | 非常に優れている | 対象業務の効率化に非常に有用な提案である | 該当 |
| 3点 | 優れている | 対象業務の効率化に資する提案である | — |
| 2点 | 標準的である | 業務に役立つ提案である | — |
| 1点 | 劣る | 業務にやや役立つ提案である | — |
| 0点 | 非常に劣る又は仕様書の要件に達していない。 | 提案なし又は業務に役立たない提案である | 非該当 |

※2 増点要素とする関連資格は以下のものである。1種類は1点増点、2種類以上は2点増点とする。

| | |
|-------|-------------------------------|
| No.12 | 一級建築士、不動産鑑定士、税理士、司法書士、土地家屋調査士 |
|-------|-------------------------------|

※3 審査の対象となる資料欄の企画提案書の記号は別紙2「企画提案書等作成要領」1(1)による。